

広域振興局長

提出者 東北小島株式会社

住所 〒024-0051 岩手県北上市相去町山根梨の木43-130

氏名 取締役社長 稲留 美昭

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

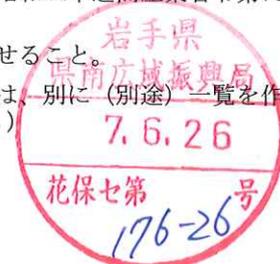
主たる工場又は事業場の名称	東北小島株式会社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県北上市相去町山根梨の木43-130	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	1,167 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
東北小島株式会社	岩手県北上市相去町山根梨の木43-130	1,167 kℓ
		kℓ
		kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)	1	kL	37		kL		37	3	3	
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油		kL			kL					
軽油	1	kL	24		kL		24	2	2	
A重油	12	kL	447		kL		447	32	32	
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	245	t	12,292		t		12,292	735	735	
液化石油ガス(LPG)		t			t					
石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³					
液化天然ガス(LNG)		t			t					
その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
石炭	輸入原料炭		t		t					
	原料炭		t		t					
	コークス用原料炭		t		t					
	吹込用原料炭		t		t					
	一般炭		t		t					
	輸入一般炭		t		t					
国産一般炭		t		t						
輸入無煙炭		t		t						
石炭コークス		t		t						
コールタール		t		t						
コークス炉ガス		千m ³			千m ³					
高炉ガス		千m ³			千m ³					
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³					
転炉ガス		千m ³			千m ³					
都市ガス		千m ³			千m ³					
その他の燃料	()									
()										
黒液		t		t						
木材		t		t						
木質廃材		t		t						
バイオエタノール		kL		kL						
バイオディーゼル		kL		kL						
バイオガス		千m ³		千m ³						
その他バイオマス		t		t						
RDF		t		GJ/t						
RPF		t		GJ/t						
廃タイヤ		t		GJ/t						
廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t						
廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t						
廃油		kL		GJ/kL						
廃棄物ガス		千m ³		千m ³						
混合廃材		t		t						
水素		t		t						
アンモニア		t		t						
その他燃料()										
小計①						12,800	770		770	
産業用蒸気		GJ		GJ						
産業用以外の蒸気		GJ		GJ						
温水		GJ		GJ						
冷水		GJ		GJ						
地熱		GJ		GJ						
温泉熱		GJ		GJ						
太陽熱		GJ		GJ						
雪氷熱		GJ		GJ						
小計②										
電気事業者①	3,596	千kWh	31,069		千kWh		31,069	1,446	1,446	
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh					
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
自家発電	374	千kWh	1,346		千kWh		1,346			
太陽光		千kWh			千kWh					
水力		千kWh			千kWh					
風力		千kWh			千kWh					
その他		千kWh			千kWh					
小計③						32,414	1,446		1,446	
合計 ①+②+③						45,214	2,216		2,216	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	1,167	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	2,216 t-CO ₂
エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	
上記以外の二酸化炭素	
メタンの排出量	t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂
六フッ化硫黄の排出量	t-CO ₂
三フッ化窒素の排出量	t-CO ₂
合計	2,216 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【目標値】

- ・最終目標として、CO2排出量を2050年時点で2013年比100%削減する。
 - ・中間目標として、CO2排出量を2030年時点で2013年比で50%削減する。
 - ・CO2排出量を2019年比で毎年5%以上削減する(2024年度目標値: 3,006t-CO2)。
- ⇒2019年比毎年5%以上の削減目標に対して、26.3%削減に成功(前年度比 19.4%削減)。
各取組状況は下記参照。

【具体的な取組状況】

○省エネルギー

①電気

- 【2023年度 実施済】事務所や食堂の窓ガラスにフィルムを取付による、空調設備負荷低減
 - 【2023年度 実施済】空調室外機に塗料を施工による、空調設備負荷低減
 - 【2023年度 実施済】省エネ性能の高い家電機器へ更新/集約による、使用電力量削減
- ⇒前年度と比較し、電気使用量を6.3%削減。
- 【2024年度 実施済】油圧成形機の寄せ止めによる待機電力削減により、年間10,793kWhの削減効果。
 - 【2024年度 実施済】LED灯 機器交換による消費電力量低減により、年間4,257kWhの削減効果。
 - 【2024年度 実施済】材料乾燥機 排熱回収装置取付による消費電力量低減により、年間41,343kWhの削減効果。

②A重油

- 【2023年度 実施済】冷温水発生器の出口温度を1℃以上緩和し、稼働負荷低減。
 - 【2023年度 実施済】温度設定/管理徹底による、A重油使用量3%削減継続。
- ⇒前年度と比較し、A重油使用量83.2%削減。
- 【2024年度 実施済】空調設備更新によるエネルギー転換(A重油→電気)により、A重油使用量を削減。

③LPG

- 【2023年度 実施済】夜勤生産ライン停止による、LPG使用量低減。
 - 【2023年度 実施済】生産終了時、生産ライン(空調、乾燥炉)停止徹底による、LPG使用量削減。
 - 【2023年度 実施済】ボイラの使用台数制限(4台中2台使用)による、LPG使用量削減。
- ⇒前年度と比較し、LPG使用量0.8%増加(生産稼働日及び休日出勤日が増加し、設備負荷が高まったことによる影響)。
- ・生産終了時、生産ライン停止徹底継続中(LPG使用量2%削減)
 - ・夏季期間、ボイラの使用台数制限継続中(LPG使用量3%削減)

○再生可能エネルギー(再エネ設備導入、再エネ由来電力の調達)

- ・工場の屋根に太陽光パネルを設置し、年間432,226kWhの発電を行う。
- ⇒太陽光パネル設置済、2024年度 373,826kWh 発電実績。

○自動車利用抑制

- ・掲示物や呼び掛け等で「ノーマイカーデー」を推進し、通勤時に自転車または公共交通機関の利用を促す。
 - ・来客者に対して、乗り合わせにより可能な限り少ない台数での来社を呼びかける。
- ⇒掲示物等での「ノーマイカーデー」推進継続。来客者に対し、乗り合わせの呼びかけ実施済。

○輸送の合理化

- ・定期的な荷受けがある仕入先は、デポ倉庫を経由することで、配送距離やリードタイム短縮を行う。
 - ・共同輸送や各取引先の積み合わせ輸送を行い、輸送効率の向上を行う。
- ⇒デポ倉庫経由、積み合わせ輸送によるリードタイム短縮・輸送効率向上の活動を継続済。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ①産廃物の分別を徹底し、リサイクル可能な物を増やすことで、資源の有効活用を促進する。
- ⇒活動継続中。今後も分別活動を継続し、資源の有効活用を推進。

- ②昼食時、マイコップや会社貸出用コップ/箸を利用することで、割り箸や紙コップの利用削減を行う。
- ⇒活動継続中。今後も活動を継続し、割り箸や紙コップの利用削減を行う。

- ③井水を活用し、上水利用量を削減することで、上水供給に発生する電力及び、CO2排出量削減を促進する。
- ⇒活動継続中。今後も活動を継続し、電力及び、CO2排出量削減を促進する。

- ④コピー用紙使用量削減

⇒活動継続中。今後も継続して削減することで、廃却量削減を継続する。

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

自 動 車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	()	ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
軽油	()	ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
L P G	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	0 (0)			kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の () には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項